

中高生の今と未来を守る金融リテラシー － 本当に必要な消費者教育とは －

中高生は日常的に、ギャンブル的要素を持つオンラインゲームなどを通じて金融問題に直面しています。卒業後も保険加入・住宅ローンなどの判断に迫られ、長期的には老後資金確保という重要な課題に取り組むこととなります。2022年からは、18歳でも親の同意なしに、消費者金融やクレジットカードの利用が可能になります。

この講座では、関西大学が実施した5800人の全国調査の結果などに基づき、行動経済学の観点から、人々が間違った金融選択をしてしまう心理的要因を明らかにします。また金融論の観点から、金融の「フェイクニュース」に左右されないために必要な心構えについても説明します。

日 時

2018年 **11月10日** (土) 14:30 - 16:00

会 場

関西大学 **千里山キャンパス** (大阪府吹田市山手町3-3-35)

講 師

関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構・経済学部 教授 **本西 泰三**

対 象

中学校・高等学校の教員

参 加 費

無 料

定 員

70名 **先着順** (定員になり次第、締め切らせていただきます)

申込締切

11月1日 (木)

お申込みはウェブサイトから

<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/>

【申込方法・留意点】

- 参加希望の方は、関西大学高大連携センターウェブサイトの「教職員対象研修講座」のページにある申込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。
- 申込受付後、受講証を送付いたします。
- 実施日の3日前までに受講証が届かない場合は高大連携センターTEL：06-6368-1184)までお問合せください。

